

第3期中期目標期間 [2016(平成28)年-]

持続的な競争力を持ち、
高い付加価値を生み出す大学づくり

大学の将来ビジョンに基づく 機能強化の推進と 自己改革の実行

教育

第3期中期目標・中期計画を迎え、教員の専門分野の枠を越えた全学的な教員組織である教育研究院を設置しました。これにより、社会や時代のニーズに迅速に対応し、組織の枠にとらわれない教育プログラムの構築や全学的な観点からの戦略的な教員配置ができるようになりました。

教育組織の改善・強化では、教育学研究科教育実践開発専攻に全国初の学校管理職養成コースの設置、工学研究科、応用生物科学研究科などを統合再編した自然科学技術研究科(修士課程)を設置しました。地域との連携では、岐阜県の中央家畜保健衛生所が本学キャンパス内に開所するほか、社会基盤メンテナンスエキスパート教育に活用するインフラミュージアム(土木構造物モデル展示)を設置しました。



2017(平成29)年4月1日
自然科学技術研究科(修士課程)を設置



2017(平成29)年8月21日
インフラミュージアム設置

研究

岐阜大学の強みとして生命科学分野、環境科学分野、ものづくり分野における研究を重視し、中核拠点として地域に根ざしつつ、全国・国際的な拠点形成に展開する取組等が実践されました。次世代金型技術研究センターや生命の鎖統合研究センターの設置など研究環境の整備がより一層充実され、また、岐阜県の中央家畜保健衛生所キャンパス内設置などによる地域連携研究も推進して、地方大学としての役割を果たしながら発展を継続しています。



2016(平成28)年10月1日
研究推進・社会連携機構「生命の鎖統合研究センター」を設置



2017(平成29)年6月16日
岐阜県中央家畜保健衛生所が本学キャンパス内に開所



2018(平成30)年6月7日
スマート金型開発拠点開所式



2018(平成30)年3月28日
「ドクターカー」導入
医師が消防署に常駐待機

社会貢献

第3期中期目標では、社会貢献に関して、県内外の他大学、自治体、地元企業等との連携を拡大したCOCコンソーシアムを形成することにより、地方創生推進事業への取り組みを一層量的に増大、質的に深化させるとともに、大学病院を中心とした地域における高度医療拠点機能のさらなる充実、岐阜県と連携した地域社会への貢献事業を推進することを掲げています。そして、目標達成に向けて、2018(平成30)年4月1日から岐阜市消防本部と共同でドクターカー事業(医学部附属病院の医師と看護師が消防職員の運転する救急車(ドクターカー)に同乗して救急現場に出動)を開始するなど、多様な取り組みを行っています。

国際

グローバル推進本部の国際戦略のもと、国際的な協働教育ならびに日本人学生と留学生の混在型教育を強化しました。2016（平成28）年4月には、地域科学部に国際教養コースを開設しました。また、日本学生支援機構（JASSO）の支援を受けて、受入・派遣双方型のサンドイッチプログラムなど、国際協働教育への取り組みを深めました。さらに、インド工科大学グワハティ校（IITG）およびマレーシア国民大学（UKM）とは、お互いの強みを生かして協働してグローバルな視点を備えた人材を養成するため、国際連携専攻（ジョイントディグリープログラム）を開設しました。この時期、海外の大学との学術交流協定はさらに増加し、また、学生の海外での活動もますます増えました。



2016（平成28）年4月1日
地域科学部に国際教養コース開設

2016（平成28）年10月28日
南部アジア地域における農学系博士教育連携コンソーシアム構成校とのサンドイッチプログラムで学生を派遣および受入



2018（平成30）年3月30日
IITGとJD専攻の設置許可の申請書を提出（2専攻分）

医療

2016（平成28）年に策定された岐阜県地域医療構想において、本院が岐阜県全体の急性期医療の中心的な役割を担うことが確認され、この役割を果たすための取り組みを推進しています。診療面では、平成28年度に医療機能が異なる病院との緊密な連携を図ることを目的としたアライアンスパートナーズ医療機能連携協定、入院業務に関する業務をワンストップで行う入院センターの設置、平成29年度に岐阜県から原子力災害拠点病院の指定、平成30年度には、地域の診療所と連携を密にすることを目的とした病診連携機関登録制度やドクターカー事業の開始、岐阜県からアレルギー疾患拠点病院に選



2017（平成29）年3月
アライアンスパートナーズ医療機能連携協定締結式

定されています。また今後のさらなる国際化を念頭に置いた取り組みも開始しました。教育・研究面では、平成30年度に先端医療・臨床研究推進センターの強化を行うとともに、国立がん研究センター東病院等のがんゲノム医療連携病院となり、臨床研究を推進しています。



2016(平成28)年9月26日
第1回同窓会連合会の集いを開催



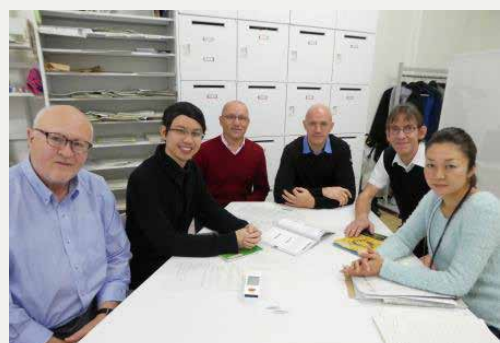
2016(平成28)年10月26日
岐阜大学フェアin広西大学(中国)を開催(事務職員も参加)



2018(平成30)年12月25日
国立大学法人名古屋大学と「東海国立大学機構」設立に向けた基本合意書を締結

その他

本学の国際化を支える取組として、2016(平成28)年10月、本学の事務職員の国際化を促進のため、はじめての岐阜大学事務系職員海外実務研修を実施しました。事務系職員を広西大学(中国の本協定校)に3週間派遣し、岐阜大学フェアを現地で開催するものです。また2018(平成30)年4月、教育推進・学生支援機構内に「イングリッシュセンター」を設置し、全学共通教育における体系的な英語4技能の育成を開始しました。教育研究環境の整備として、岐阜県の中央家畜保健衛生所、インフラミュージアムなどハードの設置のみならず、2018(平成30)年2月、ミニストップ株式会社および岐阜大学生協と、災害時の飲料・食料の提供など相互協力に関する協定書を締結しました。



2018(平成30)年4月
岐阜大学イングリッシュ・センター開設